

平成 30 年 3 月 1 0 日

## 町内会回覧ニュース 29 年度第 19 号

大平山丸山町内会  
会長 八木 英樹

### ◆◇まちづくり対話集会在開催されました◆◇

「人生 100 年時代を迎えて、まちづくりはどうあるべきか」

この課題に取り組むに当たり、当町内会はモデル地区に選ばれました。リーダーの大方潤一郎先生（東京大学・高齢社会総合研究機構長であり、鎌倉市・都市計画審議会会長）は、基本理念として、

①お年寄りが健康自立寿命を延ばし、住み慣れた家でご近所と交流しながら最期まで元気に暮らす、

②子育て世代が住みたいと思うまちづくりを掲げておられます。

プロジェクトの進め方は、各回、次のテーマの下に、参加の会員が 6 人毎のグループに分かれて対話集会を開く、それを先生方がまとめる形です。



第 1 回（7 月：現状分析と課題の特定）、第 2 回（11 月：住民が考える望ましいまちの将来像）で分かった町内会住民の意見を、東京大学の先生方が分析、整理した上で、2月25日に第 3、4、5回が午前 10 時～6時まで通しで行われました。終日参加された方も約10名いらっしゃいます。

各回の対話のテーマは以下の通りです。

第 3 回 世代をまたがる交流活動	心身を活性化する健康造り・介護予防（運動系） 〃 （趣味系） カフェ・サロンなどの居場所づくり 多世代交流
第 4 回 住環境保全活動	緑豊かな環境の保全 空き地、空き家等の地域管理と活用 安心安全な移動の確保 地区計画＋歩行環境・移動支援環境整備
第 5 回 地域の見守り体制	老いと暮らしの不安解消 近所の助け合い 防災と災害時の避難計画 これからの見守りの新技術

裏面に続く



対話集会終了後、ホールを片付け、6時から会費制で懇親会を催しました。

対話集会の打ち上げと今後の実践に向けてのキックオフです。乾杯の後、後藤先生から、本日の対話の総括報告が行われました。

これから、向こう3～5年間の活動計画をまとめ、次年度から具体的な活動を展開してまいります。

特に重視するのは、次世代型の地域社会形成とその担い手育成です。住民、行政、学が協働して実施して行きますので、引き続き皆様方の積極的参加をお願いいたします。



## ◆◇美化担当委員より◆◇

3月4日は、今年度最後の一斉清掃日でした。

暖かい陽気に恵まれ、お掃除日和となりましたが、花粉症をお持ちの方は大変だったことと思います。ありがとうございました。

3月の清掃結果は以下の通りです。

3月4日の一斉清掃の結果

参加人数	集積袋数
196名	59袋



また、今年度(平成29年4月～平成30年3月)の1か月あたりの平均は以下の通りです。

29年度の月平均の結果

参加人数	集積袋数
228名	125袋

皆様のご協力、ありがとうございました。引き続き、来年度もよろしくをお願いいたします。